

LPG燃料 V L G C新造船の定期傭船契約締結について

株式会社ジャパンガスエナジー（代表取締役社長：大浜健）は、ENEOSオーシャン株式会社（代表取締役社長：廣瀬 隆史）とLPGを燃料としたL P Gならびにアンモニアが運搬可能なV L G C（Very Large Gas Carrier/大型L P G船）の新造船定期傭船契約を締結しました。

本船は、L P Gと、脱炭素社会の新たな燃料として将来的に期待されるアンモニアを同時に運搬することが可能です。

燃料には、L P Gと低硫黄燃料油を使用できますが、L P Gを燃料とする場合、燃料油使用時に比べ、排気ガス中の硫黄酸化物（Sox）や二酸化炭素などの排出量を大幅に削減でき、IMO（国際海事機関）が定めるSOx排出への対応はもちろんのこと、2022年に更に規制強化が予定されている二酸化炭素排出量規制にも適応した新造船です。

今後、川崎重工業(株) 坂出工場で建造され、当社がE N E O S オーシャン株式会社より定期傭船します。

環境性能において最新鋭の本船を自社船団に加え、更なる輸送能力の強化と輸入ソースの一層の多様化を図り、安定的なL P G供給に努めて参ります。

<本船概要について>

1. 主要目： 全長 230m、全幅 37.2m、深さ 21.9m
2. カーゴタンク容量： 約 86,700m³
3. 建造： 川崎重工業 坂出工場
4. 竣工時期： 2023年